

偶数ページのヘッダ
MS明朝, 9pt

マットで作成する。英数字は原則として半角文字にする。2 ページ目以降の、偶数ページのヘッダには著者名を記載し、奇数ページのヘッダにはランニングタイトル（欄外表題）を記載する。ただし、ランニングタイトルは和文 40 字以内、欧文 70 字以内とする。各ページのフッタに通し番号を付す。

1 ページ目の先頭に表題（副題を含む）、著者名、研究室名、欧文表題（欧文副題を含む）、欧文著者名、欧文研究室名を記載する。ただし、欧文原稿の場合は、欧文表題（欧文副題を含む）、欧文著者名、欧文研究室名のみを記載する。原著論文及び研究ノート等には、欧文研究室名の後に 200 語程度の欧文による要旨を記載し、その後にキーワードを記載する。キーワードの後に、本文、謝辞、注、Appendix、引用文献の順に記載する。各項目は当該スタイルを用いて記載する。例えば、表題・欧文表題は「論集主題」スタイルを、要旨は「論集要旨本文」スタイルを、本文は「論集本文」スタイルを用いる。

引用文献については、本文中の文献の引用方法、文献リストの書き方は特に指定しないが、関連学会の慣例に従って行う。

節見出し
MSゴシック, 10.5pt, 太字

2.1. 章・節

本文の章、節には「1.」「1.1.」のように番号を付け、それぞれ「論集章見出し」「論集節見出し」スタイルを用いて記載する。

2.2. 図表・数式

図表や写真は本文中の該当箇所に埋め込み、それらの元ファイルを原稿ファイルとは別に提出する。図表には通し番号を付け、表題を付ける。ただし、図の表題は図の下に、表の表題は表の上に付ける。

表の表題
MS明朝, 10.5pt

表 1. 表の表題

項目	値 1	値 2
あああ	12.8	5.3
いいい	6.2	9.4
ううう	10.6	7.5

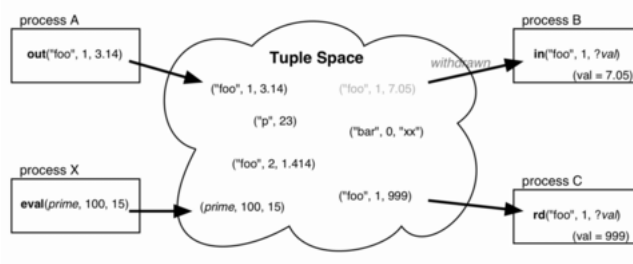


図 1. 図の表題

図の表題
MS明朝, 10.5pt

数式は、式として独立しているものは行を分けて書いてよいが、なるべく簡潔に表現し、添え字が複雑になることを避ける。

3. おわりに

A4版のカメラレディ原稿をB5版に縮小して印刷するため、刷り上がりイメージと同じフォーマットで作成する。英数字は原則として半角文字にする。これで終わりである。これで終わりである。これで終わりである。

引用文献

引用文献見出し
MSゴシック, 10.5pt, 太字

引用文献本文
MS明朝, 10.5pt

社情太郎, 2008. 「学会機関誌への投稿規則」, 学術出版局.

社情太郎・群馬一郎, 2007. 「社会情報学のすすめ」, 社会情報出版会.

社会情報学部研究委員会, 2009. 「社会情報学部研究報告規程」, 群馬大学社会情報学部研究論集, 16, 309-310.

土場学・小林盾ら (編), 2004. 「社会をくモデル>でみるー数理社会学への招待ー」, 勁草書房.

Montgomery, James D. 1998. "Toward a Role-Theoretic Conception of Embeddedness", *American Journal of Sociology*, 104(1), 92-125.